

関宮学園

令和5年度
-4月-
発行 4/12

離着任式 始業式 4 / 7

令和5年度がスタートしました。子どもたちの声が響き、学校が活気を取り戻しました。修了式で、「春休みに、頑張れるエネルギーを貯めて、4月登校してきてください。」と話していました。離着任式、始業式での整然と整列した姿に、子どもたちのやる気を感じました。



入学式 4 / 10

20名の新1年生が入学しました。しっかりと入場し、新入生呼名には大きな声で返事をしました。元気いっぱいのスタートとなりました。あったこと、思ったこと、考えたこと、嬉しかったこと、時に悲しかったと、辛かったこと、いっぱい話してほしいです。



進級式 4 / 10

新7年生26名を迎えて進級式を行いました。2週間前に修了式を終えたばかりなのに、今日の姿はずっと大人びて見えました。よく知った学校でありながら、生活は違ってくると思います。校歌2番の「友がきと つどいて学ぶ 青春のいかにたのしき」の学校生活を一緒につくっていきましょう。



関宮学園三大全力「全力挨拶 全力清掃 全力合唱」

関宮学園の子どもたちの歌声はとても素敵です。離任式、始業式、入学式、進級式で、素敵な歌声を披露してくれました。

人間国宝に認定された宮大工さんの修業時代の話です。「最初は鑿（のみ）をひたすら研がされた。『これでいいですか』と頭領に聞くのだけれど、いつまで経ってもOKをもらえなかった。いつまで研がないといけないのだろうと、不満に思っていた頃、頭領の鑿を渡された。使ってみると、自分が研いでいる鑿とは比べものにならない切れ味で、『なぜ研ぐのか』『どこまで研ぐのか』が自分は分かっていなかった。」と思ったそうです。

話は変わって、声援の話です。自転車競技では、FTPといって、1時間に出せるその人のパワーを電子レンジのように600ワットなどと表します。固定された自転車を漕いで測定します。メインは20分間の全力漕ぎです。全力で漕ぎ続けるというのは大変で、「もうダメだ。」と思いながらも続けるわけです。それでも「もう、いっぱいいっぱいだ。」となったところで、周りの人が「がんばれ」「まだまだいける」と応援します。すると、なぜか、もう少しパワーが出せるんです。本当に、全力を出すって難しいなと思います。

最後に、関宮学園「三大全力」の話です。いつも全力って、難しいかもしれませんが、時には、「こんなふうに挨拶したい。」「清掃をしたい。」「歌ってみたい。」と理想をもって、全力を出すことにチャレンジしてほしいと思います。何か変わるかもしれません。

